

ワンヘルス “One Health” ～人と動物及び環境の「健康は一つ」～ 県全体で取り組み、実践していくために

議員提案で「環境と人と動物のより良い関係づくり等福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例」を制定

県議会では、全国に先駆けた取り組みとして、令和2年12月、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を議員提案により制定しました。

その後、県では基本条例に基づき「ワンヘルス推進行動計画」を策定し、さまざまな取り組みを行っていますが、さらにワンヘルスの理念の浸透や取り組みの促進を図るには、県だけではなく市町村や県民・事業者の理解と取り組みが不可欠です。

そこで、令和4年9月定例会閉会日（10月14日）、基本条例の趣旨の通り、環境と人と動物のより良い関係づくりに関し、行政、県民、事業者が担うべき責務や取り組みを促進する仕組み等について規定した「環境と人と動物のより良い関係づくり等福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例」を議員提案により制定しました。（8面に条例の概要）



「アジアからのワンヘルスアプローチ」をテーマに、アジア・オセアニア・米国から23の国・地域の獣医師会が結集する学術会議が福岡市で開催されました

アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会



蔵内勇夫 FAVA会長による開会の挨拶



調印式で「アジアワンヘルス福岡宣言2022」の宣言書を掲げる蔵内勇夫FAVA会長（左会人：桐明和久 福岡県議会議長、服部誠太郎 福岡県知事）

11月11日から13日の3日間、第21回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会が福岡市内で開催されました。大会テーマの「ワンヘルスアプローチ」とは、人と動物と環境の健康を一体的に守る「ワンヘルス」の理念を実践することを通じて、新型コロナウイルス感染症などの人獣共通感染症の発生・まん延の防止など、地球の生態系を取り巻く様々な課題に取り組む必要があるという考えです。

この大会は獣医学における最大規模の学術会議ですが、今回は、大会テーマを踏まえ、獣医学、医学及び環境の専門家が一堂に集うシンポジウムやプログラムを実施するとともに、ワンヘルスへの理解を広げるため、県民等、誰でも参加できる“One Health”国際フォーラムや地産地消を推進する農林水産まつり等が同時開催され、いずれのイベントも大盛況となりました。

県議会からも、桐明和久議長はじめ厚生労働環境委員会、農林水産委員会及びワンヘルス・地方分権調査特別委員会等、多数の議員が参加し、国際フォーラムで挨拶した桐明議長は、ワンヘルス推進基本条例とワンヘルス実践促進条例の議員提案など、県議会の取り組みを紹介し、本県から世界にワンヘルス実践活動を広める拠点となる「FAVAワンヘルス福岡オフィス」の開設が決定したことを祝い、尽力された蔵内勇夫 FAVA新会長への感謝を述べました。

また、今後の展望等について講演を行ったオサホン・エナブレ世界医師会会長とラファエル・ラガンス世界獣医師会会長は、ともに福岡のすばらしい取り組みを世界に広げたいと語りました。

※アジア獣医師会連合 (FAVA) とは

1978年に設立されたアジア・オセアニア（米国を含む）の23カ国・地域の獣医師会の連合組織で、地域における獣医学術交流を推進するとともに、獣医師の連携を図るため、2年ごとに大会が開催されています。日本でのFAVA大会の開催は、1995年の横浜での開催以来27年ぶり3回目です。



第45号

福岡県議会ホームページ

<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>



携帯電話向けサイト

<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m>



アクロス福岡内に開設されるFAVAの日本事務所「FAVAワンヘルス福岡オフィス」の設立に関する調印式が行われました。

（写真左から）
バンバン・ボンジョ・プリオソエリアント FAVA事務局長
蔵内勇夫 FAVA会長
服部誠太郎 福岡県知事
白石博昭 福岡県保健医療介護部長

令和四年九月

定例会の概要

9月定例会は、9月9日に招集され、会期中に設置された決算特別委員会を含め、10月14日まで36日間の会期で審議が行われました。開会日には、副議長辞職の件が諮られ、仁戸田元氣副議長の辞職が許可されました。引き続き副議長の選挙が行われ、新しい副議長に井上博隆議員（民主県政協議団）が選出されました（8面に新しい副議長の紹介を掲載しています）。

また、9月29日の本会議冒頭では、議長が、台風14号及び15号によりお亡くなりになられた方々に対し、哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた方々に対し、お見舞いの言葉を述べました。

今定例会には、コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策、新型コロナウイルス感染症対策及び安全・安心の確保に要する経費のほか、地域活性化に必要な経費の令和4年度補正予算議案2件、条例議案5件、工事請負契約の締結に関する議案12件、経費負担に関する議案6件、計25件の議案が開会日に知事より提出されました。さらに、国の物価高騰対策等を踏まえた令和4年度補正予算議案1件、「令和3年度福岡県一般会計決算」など決算関係議案20件、計21件の議案が追加提出されました。

また、議員提出議案として「福岡県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例の制定について」（8面に概要を掲載しています）と「環境と人と動物のより良い関係づくり等福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例の制定について」（1面及び8面に概要を掲載しています）の2件を提出しました。

審議にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策、物価高騰対策、デジタル化への対応、教育問題など県政全般にわたり活発な論議が交わられました。審議の結果、決算関係議案を除く28件について、いずれも原案のとおり可決されました。また、決算関係議案20件についても、決算特別委員会において熱心な議論が行われ、本会議で認定、または原案可決及び認定され、また（6面に決算特別委員会の審査内容のまとめを掲載しております）。